

DST通信

第5号:2024年5月



新年度がスタートし早くも1ヶ月が経過しました。今年度は、看護部『認知症リンクナース会』が主体となり院内デイケアを実施していくこととなりました。

病院といういつもの生活の場とは違う療養の場においても、患者さんのその人らしさを大切にされたケアの提供を心掛け、患者さんが安心して療養できるよう取り組んでいきます！



部署ごとにカレンダーの配置も違ってきます。
患者さんが思い思いに考え
季節にちなんだ会話を楽しみながら
飾りつけを制作しています。

★高齢者・認知症の人へのコミュニケーションのポイント★

高齢になると視野が狭くなります。座っている人に立ったまま話したのでは威圧的となり疎外感を与えてしまいます。また、後ろから声をかけても気づいてもらえなかったり、驚かせてしまうこともあります。感覚器の老化や理解力・判断力の低下から、早口や長い文章では、理解しづらい傾向にあります。

1. 目線の高さをそろえる

2. 相手の視界に入り正面から

3. ゆっくり・はっきり・短文で



